

医療連携だより

ごあいさつ

院長兼医療連携室長 菊池 淳



コロナのことが日常から離れない生活に明け暮れているうちにまた1年が過ぎてしまいました。いつ終わるとも知れないコロナ禍の中で地域医療に携わられている皆様に敬意を表したいと思います。

さて、2022年5月初旬の現在岩手県の感染者数は少し減少してきているようにも見えますが、連休後の再増加もあり未だ高止まっていると言った方が良さそうです。人々の行動制限も緩和されて社会は少しずつ以前の姿に戻ってきつつあるようですが、医療の世界ではまだまだ気が休まらないといった状況です。

当院が目指す医療にはコロナ以外にも急性期から回復期の医療を中心としていくつかあるのですが、現在はコロナに人と時間と場所を取られているためにそれらがうまく回っていないと感じます。ですがそろそろ我々もコロナへの集中から次の段階へとシフトしていかなければならないと強く考えています。そのためには、日本におけるコロナの感染症法上の位置付けの見直しも必要かも知れませんが、少なくとも医療者の意識の変革は求められるのではないのでしょうか。コロナの診療が特殊なものではなくなる状況が早くきてほしいものだと思います。とは言え、コロナの入院治療を引き受ける役割は現時点ではまだ必要だと思われまますのでこれまで同様可能な範囲で対応したいと考えています。

まずは地域連携パスの回復期医療や4月以降待機状態となってお迷惑をお掛けした手術治療などから可能な限り通常診療に戻していく所存ですので、今後とも皆様方のご指導、ご協力をお願い申し上げます。



新任医師紹介

耳鼻いんこう科 高橋邦明



この4月より、耳鼻いんこう科に赴任いたしました高橋です。前任地である茨城県から、47年ぶりに奥州水沢に帰郷いたしました。

これまで、耳鼻咽喉・頭頸部外科領域の全般について、偏りなく標準治療を行うべく努めてまいりました。その中でも頭頸部がん治療、あるいは副鼻腔や咽喉頭の鏡視下手術、小児難聴診断については、県診療の中心的施設として役割を果たしてまいりました。

当地において新たに地域の総合病院での耳鼻咽喉診療を始めるとあたり、手術治療も含め最適、最善な治療を提供できるよう、諸先輩方のご指導をいただきながら進めてまいりたいと思います。具体的には、手術適応を十分に考慮し、副鼻腔の内視

鏡手術（ESS）、鏡視下の喉頭手術、扁桃手術、大唾液腺（耳下腺、顎下腺）手術や、口腔や咽喉の早期がんに対する経口的鏡視下手術など可能とするべく準備を進めております。

また難聴や嚥下障害、誤嚥でお困りの患者さんについては、専門外来枠を設けました。難聴外来においては、高齢者、若年者の難聴となった原因を探りながら、補聴器装用や情報提供や人工内耳手術の適応について情報提供してまいりたいと思います。嚥下外来においては誤嚥の危険のある患者さんの紹介を受け、嚥下内視鏡検査（VE）による嚥下障害程度の評価を行い、摂食嚥下指導、嚥下サポートに繋げていきたいと思っております。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

●は要予約

	月	火	水	木	金
午前	一般診察	一般診察	手術	一般診察	一般診察 (第4週除く)
午後	●難聴外来 14:00~ 16:00	●一般診察 14:00~ 16:30		●摂食嚥下 外来 14:00~ 16:00	●一般診察 14:00~ 16:30 (第4週除く)



耳鼻いんこう科外来は2階です

正面玄関右手の階段を上り、左手が外来です。エレベータの方は、降りたあと、左手廊下を待合ホール側へお進みください。



医療連携室スタッフ紹介



※前列右端が阿部看護師長

4月より医療連携室に配属になりました看護師長の阿部です。新卒から当院で勤務し、病棟経験のみではありますが、退院支援看護師・主任看護師としての経験を活かしながら、新しい環境でさらに成長していきたいと思えます。

「医療連携室は病院の顔」という意識で丁寧かつ迅速に対応し、「つなぐ」をさらに強化しながら地域のみなさまのお役に立てるよう活動して参ります。

今年度は室長（院長）1名、看護師3名、医療ソーシャルワーカー3名、医療社会事業士1名（精神科デイケア専従）の8名体制で活動してまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

水沢病院訪問看護ステーション きらり



病気や障がいを持っても住み慣れた地域で自分らしく尊厳を保ちながら暮らすことができるよう、心に寄り添い専門性の高い看護を行います

●訪問看護はこのような時にお手伝い出来ます。

- ・病院を退院して、病気や障がいをもって自宅暮らししたい
- ・最期の時を自宅で迎えたい
- ・医療器具（在宅酸素・点滴・胃ろう・カテーテル等）の管理をしてほしい
- ・入浴介助・清拭・足浴など手伝ってほしい
- ・排泄の介助や管理をしてほしい
- ・薬の管理や指導をしてほしい
- ・療養生活の悩み、介護方法についての相談など

医療機関やケアマネージャー、相談員の方々と連携を図り高齢者はもちろん、小児疾患、精神疾患、難病の方々にも対応いたします。



「私たちが心を込めて
看護します」



私たち訪問看護師が、24時間連絡体制を整え・365日安心して療養生活を送れるよう支援させていただきます。

水沢病院訪問看護ステーションきらり

TEL:0197-47-3843(直通)

FAX:0197-47-3843

e-mail:kirari@city.oshu.iwate.jp

お気軽にお問い合わせ下さい。

【駐車場案内】

病院周辺に約200台分の駐車場スペースがございます。
分散しており大変申し訳ございません。道幅が狭い場所もございますので、ご注意いただきながらご利用いただきますようお願いいたします。



●発熱外来について

当院では発熱等風邪症状、または新型コロナウイルス感染症疑いの患者さんの診察を行っております。診察は場所を分けて、時間をお約束して対応しておりますので、**診察をご希望の場合は、来院前にお電話**いただきますようお願いいたします。

電話 0197(25)3833(代表)

「発熱など症状があるための相談」であることをお伝えください

【おねがい】

- 医療機関からご紹介いただく場合は、FAXによる診療申込をお勧めしております。
- 当日ご紹介の際は、直接診療科の医師へご一報のうえ、FAXをお送りください。

患者様がスムーズに診察を受けていただくため、ご協力をおねがいたします。

奥州市総合水沢病院 医療連携室

〒023-0053

岩手県奥州市水沢大手町三丁目1番地

電話 0197-25-3833 (内線257)

FAX 0197-25-4012 (医療連携室直通)

ホームページ <http://www.mizhsp-iwate.jp>



朝日を待つ菜の花と一本杉〜角塚古墳〜